

公益社団法人富山県サッカー協会 2022年度 第10回理事会

2022年12月10日 開催

決議事項

1. 技術委員会予算振替の件

技術委員会より申請があった予算振替を認めたい。

承認

報告事項

1. FAコーチ実施計画書の件

FAコーチの採用にあたり、JFAへ実施計画書を提出し承認をもらう。育成の部分、女子の部分に力をいれた計画となっている。

2. モンゴル代表富山キャンプ報告、概算決算の件

11月12日から20日まで行われたモンゴル代表富山キャンプは順調に終了した。期間中に行ったインターナショナルカップは富山新庄クラブが1位、モンゴル代表は2位、富山第一高校が3位となった。エキシビジョンマッチはモンゴル代表が1-0でカタールレ富山U-18に勝った。
経費はJFAの負担と富山市の補助金で賄える見通しだ。

3. とやまサッカーフェスタ2022・パブリックビューイング報告、概算決算の件

11月27日に実施したパブリックビューイングイベントは計画通りに終了した。参加者は想定した数より少なかったが、会場は盛り上げりワールドカップの機運醸成には役立ったと考える。
収支もほぼ計画通りとなり、協会負担は事前に承認いただいた範囲内でおさる見込みだ。

4. タウンミーティング担当委員会の件

3月に開催を予定しているタウンミーティングは経営企画委員会が担当することとした。

5. 種別委員会活動報告の件

・技術委員会

北信越U-15トレセンリーグは3勝1分け、得失点差で1位となった。北信越U15のリーグ戦、1位カタールレ富山、2位長野パルセイロという結果と同じになった。

高円宮杯ではカタールレ富山は残念ながら負け、長野パルセイロも負けた。北信越勢が勝ててないので、北信越からの代表枠が少なくなる。

・審判委員会

ユース審判員を12月の全日本U-12大会に北信越代表の主審として派遣することが決まった。

高校2年生で今日も指導をうけているが、当日までもう少し研修をして対応していきたい。

2級の昇級試験は3名受験し全員が合格基準をクリアしている。来週の北信越審判委員会で3名誕生する予定だ。

・シニア委員会

シニアは今日この後に納会と表彰式を行う。明日の新聞には最優秀選手が出ると思う。

・1種委員会 大学高専

大学高専連盟は、リーグ戦は終了し来年に向けて日程調をしている。

審判講習会は学生にも連絡して、受講する様に促している。

・2種委員会

2種は本日、富山中部高校でTリーグアウォーズを会長が参加して実施した。
今月下旬に開幕する全国高校選手権大会に富山第一高校が出場し、31日に山口県代表の高川学園高校と対戦する。

・2種・3種クラブユース

U18クラブユースの北信越大会が来年度富山県開催となり、しばらくは富山県で開催する。U15は新潟県と長野県、新人戦は石川県、U18は富山県と福井県でまわして実施する。

・フットサル委員会

現在、全日本フットサル選手権富山県大会を実施している。12月25日が準決勝、決勝。
全日本女子選手権は、参加チームが1チームの為、そのチームが北信越大会に出場する。
全日本女子U-15フットサル北信越大会にラオフエンが出場したが、全国大会には行けなかった。
県リーグは終了し、INFINITYが優勝、北信越リーグ参入戦に参加している。
フットサルU18交流大会は進行中で、18日が最終日となる。
U15フットサル選手権は6チームが参加し、VIENTOが優勝した。北信越大会では全国大会出場はかなわなかったが、優勝チームに予選リーグで善戦した。富山県勢は22年間全国大会に出場できていない。

・事業委員会

県選手権大会は来年3月、4月に4回戦以降を実施予定。カターレ富山、富山新庄クラブ、エヌスタイルに、今回勝ち上がったヴァリエンテ富山、富山国際大学で戦う事になる。

・施設委員会

県協会として県や市に競技場に関しての要望書を出した方が良いと考えているので、そのための調査を始めた。